

平成29年度電気技術者資質向上事業の実施結果

平成30年3月29日

「電気技術者資質向上事業」は、関係機関が実施を計画する電気技術者の資質向上を目的とする事業(以下、「資質向上事業」という。)を支援すること等により、当事業の着実な実施、さらなる普及・拡大等を通じて、電気技術者の資質の向上を図り、もって我が国の電気保安の確保に寄与することを目的に実施した。

平成29年度の事業実施結果は、次のとおり

1. 経過

平成29年4月1日(土)～10月31日(火)の間、当試験センターホームページで提案を募集したところ次の10件の申請があった。

・平成29年4月26日(水)

「電気技術者資質向上アドバイザー委員会からの意見聴取」により
次の1件の採択が適当とされた。

- ① 「第17回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門」
(北海道工業高等学校長会)

・平成29年5月31日(水)

「電気技術者資質向上アドバイザー委員会からの意見聴取」により
次の3件の採択が適当とされた。

- ① 「平成29年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会(第17回全国大会プレ大会)電気工事部門」
(平成29年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会(第17回全国大会プレ大会)電気工事部門 実行委員会)
- ② 「高校生ものづくりコンテスト2017東北大会【岩手大会】電気工事部門」
(東北地区工業高等学校長会)
- ③ 「第17回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)」
(近畿地区電気教育研究会)

・平成29年7月20日(木)

「平成29年度第1回電気技術者資質向上アドバイザー委員会」を開催し、
次の4件の採択が適当とされた。

- ① 「平成29年度 第16回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会
兼 第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
(関東甲信越地区電気教育研究会)

- ② 「第24回配電工事安全技能競技会」 (北陸電気工事組合連合会)
- ③ 「第3回関西電気工事工業会技能競技大会」 (関西電気工事工業会)
- ④ 「第50回全九州技能競技大会」 (一般社団法人全九州電気工事業協会)

・平成29年9月26日(火)

「電気技術者資質向上アドバイザー委員からの意見聴取」により
次の2件の採択が適当とされた。

- ① 「第34回引込および内線工事技能オリンピック大会」
(中部電気工事協力会連合会)
- ② 「第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会(中国大会)電気工事部門」
(第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会(中国大会)電気工事部門実行委員会)

2. 支援対象事業の実施結果

10事業については、次のとおり実施された。

- ① 「第17回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門」
(北海道工業高等学校長会)
平成29年5月19日(金)に実施 表1参照
- ② 「平成29年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会(第17回全国大会プレ大会)電気工事部門」
(平成29年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会(第17回全国大会プレ大会)電気工事部門 実行委員会)
平成29年6月18日(日)に実施 表2参照
- ③ 「高校生ものづくりコンテスト2017東北大会【岩手大会】電気工事部門」
(東北地区工業高等学校長会)
平成29年7月28日(金)に実施 表3参照
- ④ 「第17回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)」
(近畿地区電気教育研究会)
平成29年8月8日(火)に実施 表4参照
- ⑤ 「平成29年度 第16回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会兼 第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
(関東甲信越地区電気教育研究会)
平成29年8月26日(土)に実施 表5参照
- ⑥ 「第24回配電工事安全技能競技会」
(北陸電気工事組合連合会)
平成29年9月12日(火)に実施 表6参照

- ⑦ 「第3回関西電気工事工業会技能競技大会」 (関西電気工事工業会)
平成29年10月6日(金)に実施 表7参照
- ⑧ 「第34回引込および内線工事技能オリンピック大会」(中部電気工事協力会連合会)
平成29年11月9日(木)に実施 表8参照
- ⑨ 「第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会(中国大会)電気工事部門」
(第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会(中国大会)電気工事部門 実行委員会)
平成29年11月19日(日)に実施 表9参照
- ⑩ 「第50回全九州技能競技大会」(一般社団法人全九州電気工事業協会)
平成29年11月25日(土)に実施 表10参照

3. その他

平成30年度電気技術者資質向上事業募集要項は、別途、当試験センターのホームページに掲載します。

表 1

項 目	内 容
支援事業名	第17回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門
目 的	全道の各工業高等学校で取り組んでいる電気工事分野でのものづくりの学習効果の発表の場として、全道の工業高校生が技術・技能を競い合う北海道大会を開催し、選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「若年者ものづくり競技大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図る。
実施期間	平成29年5月19日(金)
開催場所	北海道滝川工業高等学校 実習室
主 催	北海道工業高等学校長会 北海道高等学校工業クラブ連盟
後 援	北海道教育委員会 北海道産業教育振興会、 北海道の工業教育を推進する会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 平成13年度から継続して実施し、今年度で17回目となる。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会会員校に在籍している工業科の生徒で全日制、定時制各1名。</p> <p>③競技方法・競技内容 屋内配線の課題を概ね縦1,800×横1,800の作業パネルに与えられた材料で施工を行う。</p> <p>④審査方法 北海道電力(株)滝川営業所職員及び空知地方電気工事協同組合滝川支部組合員による審査</p> <p>⑤表彰 最優秀賞1名、優秀賞1名、優良賞2名</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技選手: 8名 ・審査員: 3名 ・事務局: 8名 ・その他: 2名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部167千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 1

第 17 回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門

(北海道工業高等学校長会)

実施日：平成 29 年 5 月 19 日 (金)

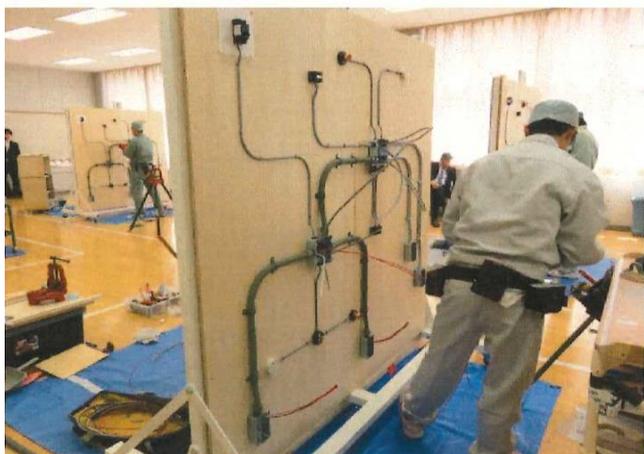


表 2

項 目	内 容
支援事業名	平成29年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会(第17回全国大会プレ大会) 電気工事部門
目 的	中国5県の各工業高等学校で取り組んでいるものづくりの電気工事分野において、日々の学習などで積み上げた技術・技能を競い合う場として、中国地区大会を開催する。選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「全日電工連主催電気工事技能競技全国大会 高校生の部」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図る。
実施期間	平成29年6月18日(日)
開催場所	広島県立広島工業高等学校 体育館
主 催	中国地区高等学校工業教育研究会、高等学校工業クラブ連盟
後 援	広島県教育委員会、広島市教育委員会、日本教育公務員弘済会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 1年に1回、開催している。平成29年度で17回を数え、今後も継続した事業の実施が計画されている。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会会員校に在籍している工業科の生徒で全日制、定時制に所属。</p> <p>③競技方法・競技内容 屋内配線の課題を概ね縦1,820×横1,820の作業パネルに与えられた材料で電気工事の施工を行う。</p> <p>④審査方法 中国電力(株)職員、(株)中電工職員、ポリテクセンター職員による審査</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、三位</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技選手: 10名 ・審査員: 4名 ・事務局: 20名 ・その他: 30名
支援の内容	開催経費のうち、設営・運営費等の一部239千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 2

平成 29 年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会
(第 17 回全国大会プレ大会) 電気工事部門

(平成 29 年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会
(第 17 回全国大会プレ大会) 電気工事部門 実行委員会)
実施日：平成 29 年 6 月 18 日 (日)



表 3

項 目	内 容
支援事業名	高校生ものづくりコンテスト2017東北大会【岩手大会】電気工事部門
目 的	東北地区内の工業高校生の電気工事に関する技術・技能の向上と相互交流を図る。
実施期間	平成29年7月28日(金)
開催場所	岩手県立黒沢尻工業高等学校
主 催	東北地区工業高等学校長会
後 援	岩手県教育委員会、岩手県高等学校教育研究会工業部会 一般財団法人日本電気協会東北支部、一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 平成13年の第1回高校生ものづくりコンテスト全国大会「電気工事部門」から参加を続けており、東北エリアの代表権を得るための大会を年1回実施している。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 東北6県において県の代表権を取った選手6名と開催県枠1名の計7名。</p> <p>③競技方法・競技内容 第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:130分 「競技規則」に従い、電気設備を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法 日本電気協会東北支部の職員による審査 審査の基本的観点・採点方法 ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	・競技選手:7名 ・審査員:10名 ・事務局:10名 ・その他:52名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部138千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 3

高校生ものづくりコンテスト2017東北大会【岩手大会】電気工事部門

(東北地区工業高等学校長会)

実施日：平成29年7月28日(金)



表 4

項 目	内 容
支援事業名	第17回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)
目 的	大会を通して工業高等学校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技術・技能の向上を図るとともに、今後の電気・電子教育の資質向上を目指す。
実施期間	平成29年8月8日(火)
開催場所	株式会社きんでん きんでん学園
主 催	近畿地区電気教育研究会
後 援	近畿工業高等学校長協会 和歌山県教育委員会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 全国工業高等学校長協会では、各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、1年に一度の、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会(高校生ものづくりコンテスト全国大会)を企画し、過去16回実施した。 全国大会への近畿地区代表選手の選考会である。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 近畿各府県の工業を学習する高校生で予選会を実施し、各府県代表の8選手で近畿大会を行い全国大会出場代表選手を決定する選考会である。</p> <p>③競技方法・競技内容 第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:120分 「施工図」、「施工条件」、「電灯展開図」に示す配線工事を行う。</p> <p>④審査方法 (株)きんでんの技術指導員及び工業系高校電気工事指導教員による審査 審査の基本的観点・採点方法 ・関係法令等に適合した施工方法であること。 ・美観を含めた施工状況であること。 ・安全作業、作業態度に注意して施工していること。 ・工事未完成、施工条件違反は審査対象外とする。 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格 ・各項目ごとの減点方式で採点して減点の少ない者から上位とする。</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	・競技選手:8名 ・審査員:10名 ・事務局:14名 ・その他:32名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部140千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 4

第 17 回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）

（近畿地区電気教育研究会）

実施日：平成 29 年 8 月 8 日（火）



表 5

項 目	内 容
支援事業名	平成29年度 第16回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会 兼 第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会
目 的	電気系学科の生徒を対象に、電気工事コンテストを行うことにより電気工事の基礎応用の技術向上を図るとともに、電気技術者の育成を図る。
実施期間	平成29年8月26日(土)
開催場所	山梨県立峡南高等技術専門校
主 催	関東甲信越地区電気教育研究会
後 援	関東地区工業高等学校長会、山梨県教育委員会 山梨県産業教育振興会、株式会社関電工 山梨県電気工事工業組合、一般社団法人東京電業協会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 関東地区1都7県、持ち回りで毎年開催</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 関東甲信越地区電気教育研究会加盟校に在籍し、各都県において推薦された生徒2名(学年は問わない)</p> <p>③競技方法・競技内容 第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:100分 概ね縦1,800×横1,800の垂直パネルに課題図に示す低圧屋内配線工事を想定した材料を使用し、施工条件に従って完成させる。</p> <p>④審査方法 (株)関電工に委嘱し審査 審査の基本的観点・採点方法 ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者:16名 ・審査員: 9名 ・事務局: 42名 ・その他: 50名
支援の内容	開催経費のうち、設営・運営費等の一部90千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 5

平成 29 年度第 16 回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会
兼 第 17 回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会
(関東甲信越地区電気教育研究会)
実施日：平成 29 年 8 月 26 日 (土)



表 6

項 目	内 容
支援事業名	第24回配電工事安全技能競技会
目 的	配電工事安全技能教育の一環として、工事技能、安全作業及びお客さま対応の習得向上を図る。
実施期間	平成29年9月12日(火)
開催場所	北陸電力(株)研修センター
主催	北陸電気工事組合連合会
協賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 年1回、平成6年より毎年開催、今年度が第24回目 北陸電力(株)の配電工事を実施している北陸三県の外線・引込線施工者を対象</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 外線工事 :各県電工組より1チーム3名 計3チーム 引込線工事:各県電工組より1チーム3名 計3チーム 参加資格:北陸電力(株)の配電工事認定施工者</p> <p>③競技方法・競技内容 外線工事:間接活線作業による仮設開閉器取付・柱間切断工事 引込線工事:活線近接作業による低圧引込線取替工事</p> <p>④審査方法 審査委員長・副委員長:連合会配電委員 審査員:安全管理指導員及び外線工事作業班長による審査 審査の基本的視点・採点方法 ・作業安全 ・施工品質 ・お客様対応 ・競技時間</p> <p>⑤表彰 外線工事 :最優秀賞、優秀賞、努力賞 引込線工事:最優秀賞、優秀賞、努力賞</p>
参加者数	<p>・競技参加者: 18名 ・審査員 14名 ・事務局 31名 ・その他 205名</p>
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部476千円を支援

第 2 4 回配電工事安全技能競技会

(北陸電気工事組合連合会)

実施日：平成 2 9 年 9 月 1 2 日 (火)

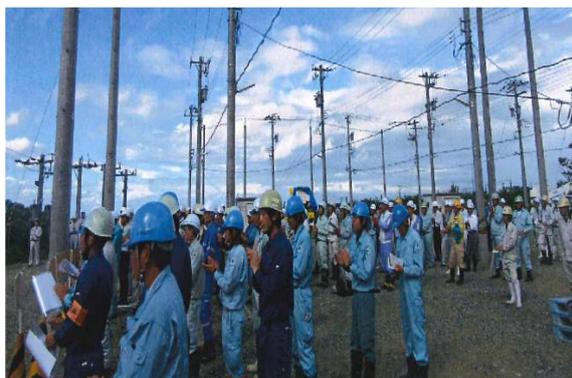


表 7

項 目	内 容
支援事業名	第3回関西電気工事工業会技能競技大会
目 的	電気技術者の施工品質の向上と電気工事技能のさらなる向上を図ること。
実施期間	平成29年10月6日(金)
開催場所	京都パルスプラザ
主 催	関西電気工事工業会
後 援	中部近畿産業保安監督部近畿支部、全日本電気工事業工業組合連合会 近畿電設資材卸業組合連合会、一般財団法人関西電気保安協会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 隔年で開催している大会であり、近畿2府4県が順番に開催地となり大会を実施</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 近畿2府4県の電気工事工業組合に所属する電気工事士有資格者</p> <p>③競技方法・競技内容 与えられた施工条件のもと、施工図に示された作品を180分以内で完成させる。</p> <p>④審査方法 各府県電気工事工業組合の技術委員及びそれに準ずる者が審査。 作品未完成、点灯・導通試験不良、重大欠陥の作品を除き、以下の審査を行う。 ・安全への配慮 ・作業態度・服装 ・仕上がり体裁 ・接続技術</p> <p>⑤表彰 最優秀賞1名、優秀賞2名、優良賞2名</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者: 15名 ・審査員: 28名 ・事務局: 30名 ・その他: 106名
支援の内容	開催経費のうち、設営・運営費等の一部等1,578千円を支援

表 7

第 3 回関西電気工事工業会技能競技大会

(関西電気工事工業会)

実施日：平成 29 年 10 月 6 日 (金)



表 8

項 目	内 容
支援事業名	第34回引込および内線工事技能オリンピック大会
目 的	技能オリンピック大会を通じ、所属会員の電気工事技術並びに技能の向上を図り電気設備における公共保安の確保と、お客さまサービスの向上に資する。
実施期間	平成29年11月9日(木)
開催場所	中部電力(株)人財開発センター配電研修所内線実習館
主 催	中部電気工事協力会連合会
後 援	中部電力株式会社
協賛	一般財団法人中部電気保安協会 公益社団法人日本電気技術者協会中部支部 電気安全中部委員会・電気新聞中部総局 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 隔年開催で、開催エリアは愛知県・岐阜県・三重県・長野県・静岡県(西部)</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 協力会員又はその従業員であって、第一種又は第二種電気工事士である者</p> <p>③競技方法・競技内容 1. 実技 引込、需給装置及び屋内・屋側配線に関する工事とし、施工証明書のお客さまへの引渡しについても対象組作業にて1時間50分程度で仕上げる。 2. 学科 第2種電気工事士として必要な施工技術・技能に直結した問題を30分で解答する。</p> <p>④審査方法 中部電力(株)検査担当職員による審査</p> <p>⑤表彰 総合1～6位のチーム：中部電力(株)賞 総合1位のチーム：電気新聞中部総局賞 実技1～3位のチーム：(一財)中部電気保安協会賞 安全1～3位のチーム：(公社)日本電気技術者協会中部支部霜寿賞 学科上位5名：電気安全中部委員会賞</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者：36名 ・審査員： 60名 ・事務局： 5名 ・その他： 375名
支援の内容	開催経費のうち、材料費の一部等603千円を支援

表 8

第 3 4 回 引込および内線工事技能オリンピック大会

(中部電気工事協力会連合会)

実施日：平成 2 9 年 1 1 月 9 日 (木)

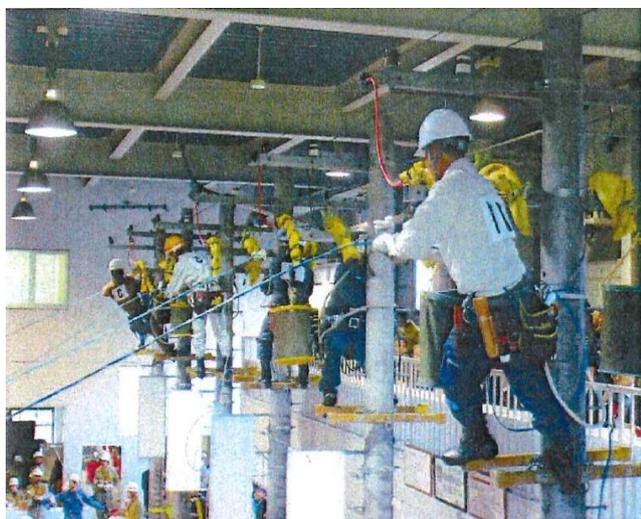
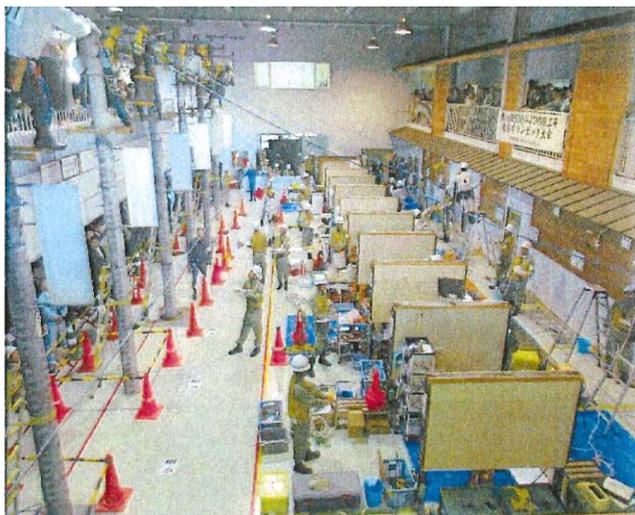


表 9

項目	内容
支援事業名	第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会(中国大会)電気工事部門
目的	全国の各工業高等学校で取り組んでいるものづくりの電気工事分野において、日々の学習や練習などで積み上げた技術・技能を競い合う場として、全国大会を開催する。そして、産業及び電気保安に関する技術・技能水準の向上と知識の習得により、若年技術・技能者の育成を図る。
実施期間	平成29年11月19日(日)
開催場所	広島県立広島工業高校 体育館
主催	公益社団法人全国工業高等学校長会、中国地区工業高等学校長会
後援	文部科学省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、広島県 岡山県、公益財団法人産業教育振興中央会 公益財団法人日本自動車教育振興財団、中央職業能力開発協会 一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 1年に1回開催している。平成29年度で17回を数え、今後も継続した事業の実施が計画されている。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会員校に在籍している工業科の生徒で全日制・定時制に所属していること。</p> <p>③競技方法・競技内容 屋内配線の課題を概ね縦1,820×横1,820の作業パネルに与えられた材料で電気工事の施工を行う。</p> <p>④審査方法 中国電力職員 1名, 中電工職員 2名, ポリテクセンター職員 1名による審査</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者: 10名 ・審査員: 4名 ・事務局: 20名 ・その他: 60名
支援の内容	開催経費のうち、材料費の一部等258千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表9

第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会（中国大会）電気工事部門

（第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会（中国大会）電気工事部門 実行委員会）

実施日：平成29年11月19日（日）



表 10

項目	内容
支援事業名	第50回全九州技能競技大会
目的	沖縄を含む九州8県の電気工事業工業組合から選抜された選手にオブザーバー参加の学生を加え、技術・技能を競い合い、安心生活と電気安全を支える技術技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図り、電気工事業の発展を期す。
実施期間	平成29年11月25日(土)
開催場所	長崎県立長崎高等技術専門校
主催	一般社団法人全九州電気工事業協会
後援	経済産業省九州産業保安監督部
協賛	九州電力株式会社、沖縄電力株式会社、一般財団法人九州電気保安協会 東芝ライテック株式会社、東芝電材マーケティング株式会社 株式会社白十字安全、全日本電気工事業工業組合連合会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 平成27年までは毎年、沖縄を含む九州各県持ち回りで開催地として大会運営に当たる。以降は隔年開催として、今年の大会は長崎県で実施する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 (一社)全九州電気工事業協会の会員である各県電気工事業工業組合の所属員にて予選会を実施し、各県より選抜された2名(福岡は4名)の代表と開催県より推薦された学生2名(オブザーバー参加を予定していたが、女性電工へ変更して実施した。</p> <p>③競技方法・競技内容 筆記競技: 第二種電気工事士筆記試験の出題レベル相当の問題を出題。 試験時間30分 技能競技: 全九州技能競技大会実行委員会において定めた課題並びに競技指示に基づき、安全で正確な施工を行う。 競技時間150分</p> <p>④審査方法 審査委員は当協会委員の2名(電気工事の実務経験を有した者)による通電試験並びに技術基準違反等について確認を行い、その後に公平性を期すため外部の審査委員(九州産業保安監督部、九州電力(株)、(一財)九州電気保安協会、東芝ライテック(株)の技術者)4名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目毎の減点方式 ・審査対象は、全ての工事(作業)が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・通電試験の結果、不点灯、短絡したもの、また、技術基準に違反したものは失格</p> <p>⑤表彰 最優秀賞1名、優秀賞2名、入賞5名</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者: 20名 ・審査員: 12名 ・事務局: 25名 ・その他: 116名
支援の内容	開催経費のうち、旅費・交通費等の一部等935千円を支援

表 10

第 50 回全九州技能競技大会

(一般社団法人全九州電気工事業協会)

実施日：平成 29 年 11 月 25 日 (土)

